



NIIGATA
越品
EPPIN

燕の良いモノがたり



11月22日(水)～11月28日(火)

〈最終日午後5時終了〉

新潟伊勢丹 1階 NIIGATA 越品

ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール
2023 グランプリ 経済産業大臣賞



刃を使わない特有のあじろ模様突起で、手が触れても痛くなく、ケガもしないおろし金です。サイズも卓上で使用するのに最適、わさびやしょうが、葉菜等をその場でおろすことができます。

〈トミタ〉トミタ式おろし金 **3,960円**

(18-8ステンレス鋼/180×80×5mm/110g)

ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール
2023 準グランプリ 経済産業省製造産業局長賞

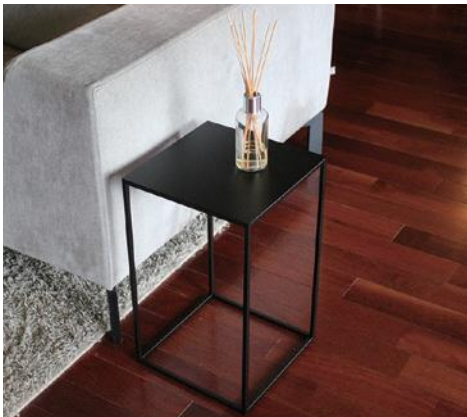


お気に入りの器や容器を飾る場に合わせてお花を活ける「一輪挿し」と一輪挿しの容器の他に、小物入れとしても使える「銅製のトレイ」です。
〈タケダ〉①HANAKUBARI シルバー **3,850円**(本体:約35×37mm/約197g・アダプター:約15×15.2mm/約10g)・②HANAKUBARI ピンクゴールド **6,600円**(本体:約35×37mm/約198g・アダプター:約15×15.2mm/約11g)・③TRAY160 **6,600円**(約160×20mm/約167g)

ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール
2023 優秀賞 新潟県知事賞



新潟県産のブナの間伐材「スノーピーチ」を使った環境にやさしい木のおもちゃ。絵本を読みながら木のパズル(くみ木)を組み立て、遊びながら森の自然環境を育てます。
〈くみ木の森〉くみ木の絵本「おかえりどうぶつはうす」**13,200円**(ブナ[スノーピーチ]/170×170×35mm/405g)



ワンランク上の暮らしを彩るインテリアプロダクト〈KUROSHIRO〉。質感・ディテール・空間美を意識しました。All Made in Abekin。ぜひコレクションをお楽しみください。〈KUROSHIRO〉サイドテーブル **9,130円**(スチール[焼付塗装]/28×28×45cm)



“コーヒー界のレジェンド”田口護氏監修、低速臼式フラットミルと6方向からお湯を注ぐシャワードリップでプロのハンドドリップを再現。湯温83°Cが豆本来の味を引き出します。〈ツインバード〉全自動コーヒーメーカー **42,350円**(約160×335×360mm/4.1kg)



フライパンで手軽に蒸し料理ができます。トレーに乗せて、そのまま食卓にも。直径24cm以上のフライパンで使用できます。
〈家事間屋〉蒸しかご **2,750円**
(18-8ステンレス[4メッシュ]/21.5×19.5×4.5cm)



素材の良さを最大限に生かし、余計な装飾を一切せず、職人が一つひとつ丁寧に磨きを繰り返し、手馴染み良い靴べらに仕上がっています。なめらかな曲線が足の形状にフィットして、スマートに靴を履くことができます。

〈田辺金具〉靴べら[純銅・ダメージ仕様] **7,700円**(純銅・牛革/98×38×1.5mm/40g)



窒化熱処理とは鉄に窒素を浸透させ鉄を強化する表面強化処理。窒化鉄鍋は変形しにくい・キズつきにくい・サビつきにくい・焦げつきにくいです。

〈鉄鍋燕の職人わたしのこだわり〉フライパン 26cm深型 **9,900円**(本体:鉄[窒化処理]・ハンドル:ウォールナット[ウレタン塗装]/262×80mm)

※画像は盛付例・使用例です。
※諸般の事情により、予定しております商品および企画に変更がある場合がございます。予めご了承ください。
※数に限りがある商品もございますので、品切れの際はご容赦ください。
※価格はすべて、税込みです。標準税率(10%)と軽減税率(8%)が混在しております。

ISETAN

伊勢丹 新潟

www.isetan.co.jp



輝くまち、燕市から産まれる逸品たち



◆燕市ってこんなところ

燕市(つばめし)は、越後平野を縦に貫くように流れる信濃川と、その分流である中之口川、西川に沿った一帯に形成された新潟県の中央部に位置しています。人口は約77,000人。就業人口の3人に1人が製造業という「ものづくりのまち」です。高度で多様な金属技術が集まり、カトラリーなどの金属洋食器の国内生産シェアは90%以上。鍋やフライパン、包丁などの金属ハウスウェアも全国生産額の約90%を占めています。その技術力は世界的な評価も高く、ノーベル賞の晩餐会、APECでの各国首脳への贈答品に採用されました。

◆ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクールとは

コンクールは、金属洋食器、金属ハウスウェアをはじめとする燕産地が生み出す様々な製品に対し、新規性・革新性、審美性、機能性、市場性、社会・環境性について、専門的視点により評価・発信することで、産地としての競争力を高め、持続的発展を目指すコンクールです。今年で46回目を数え、グランプリには経済産業大臣賞が授与される、歴史のあるコンクールです。今回の「燕の良いモノがたり」では昨年度のジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール受賞作品を中心にご紹介いたします。

◆ふるさと納税

ふるさと納税の寄付額の県内トップの自治体は燕市。返礼品はものづくりの技術を活かしたカトラリーや包丁など3,000品を揃えており、全国の沢山のお客さまに選ばれています。



燕市観光PRキャラクター
「きららん」



伊勢丹 新潟

www.isetan.co.jp